

加賀市における公立病院改革プランに関する答申書

加賀市地域医療審議会

- 1 加賀市地域医療審議会の組織
- 2 加賀市地域医療審議会の目的
- 3 審議の経過
- 4 各病院別の改革プラン（案）
- 5 参考意見

1 加賀市地域医療審議会の組織（平成 20 年 10 月 2 日現在）

会 長	稲坂 暢（加賀市医師会長）
副会長	佐藤日出夫（南加賀保健福祉センター所長）
委 員	上田良成（加賀市医師会議長）
委 員	富田勝郎（金沢大学附属病院長）
委 員	小塩作馬（加賀市議会議長）
委 員	要明 勲（加賀市議会議員）
委 員	三輪邦彦（市民代表〔公募〕）
委 員	丸谷朱美（市民代表〔公募〕）
委 員	末 一夫（加賀市消防長）
委 員	関 雅博（石川病院長）
委 員	嶋崎正晃（山中温泉医療センター管理者）
委 員	前野紘一（加賀市民病院管理者）

2 加賀市地域医療審議会の目的

本審議会は、加賀市地域医療審議会条例第 1 条の規定に基づき、加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とする。今回の審議会は、この目的に沿い加賀市病院事業改革プラン(案)を策定する。

3 審議の経過

第 1 回会議

日時：平成 20 年 10 月 2 日（木）13 時 30 分～15 時 15 分

場所：加賀市民病院 講堂

会議内容

(1) 会長、副会長の選出

委員の互選により会長に稲坂暢氏、副会長に佐藤日出夫氏を選出した。

(2) 本審議会開催の経緯と審議すべき課題について説明が行われた。

(3) 公立病院改革ガイドラインのポイントについて説明が行われ、意見が交わされた。

- (4) 平成 18 年度の本審議会答申内容について説明が行われ、意見が交わされた。
- (5) 加賀市が開設する 2 病院の現況について説明が行われ、意見が交わされた。

第 2 回会議

日時：平成 20 年 11 月 27 日（木）14 時～16 時

場所：加賀市民病院 講堂

会議内容

- (1) 南加賀医療圏における現況と加賀市の現状報告が行われ、意見が交わされた。
- (2) 公立病院改革プランの概要について説明が行われ、意見が交わされた。

第 3 回会議

日時：平成 21 年 1 月 22 日（木）14 時～15 時 30 分

場所：加賀市民病院 講堂

会議内容

- (1) 加賀市が開設する 2 病院の改革プラン(案)について説明が行われ、意見が交わされた。

4 各病院別の改革プラン（案）

加賀市病院事業改革プラン(加賀市民病院)（案）・・・別添のとおり

加賀市病院事業改革プラン(山中温泉医療センター)（案）・・・別添のとおり

5 参考意見

- (1) 加賀市が開設する病院が 2 つのままでは、急性期の病院として機能が分散し、良質で高度な医療は出来ない。医療の質を考慮し、集約してより高度な急性期の医療を加賀市につくるべきである。マンパワーと資産の集約化は絶対必要。
- (2) 市民自ら医療レベルが大切か、近い処にあるということだけで良いのか判断し、1 つにまとめた方が良いということであれば大学病院もその方向に協力する。
- (3) 医療センターに関する国との協定は病院の継続であり、地域医療振興協会が運営しなければならない内容ではない。よって、市が直接運営し協会に指定管理しないという選択肢もあると考える。

- (4) 新病院に医療資源を集約し1つにする事を最終目標とし、その前段階として、既存の病院が有機的な繋がりを持つ1つの病院のようなネットワークをつくる事を望む。
- (5) 病院を1つにすべきという答申を当局へ出すことについて、議会側としては一応留保する。
- (6) 加賀市民病院、山中温泉医療センターに石川病院を加えた病院間で、救急患者の受け入れ態勢を話し合い市外への搬送が減少するよう考慮していただきたい。
- (7) 子どもを育てやすい環境づくりは、加賀市の発展に結びつくと思う。行政として病院づくりにもっと関心を持ってもらいたい。
- (8) 様々な目標を達成するには、信頼される医師やスタッフの育成が一番大事。
- (9) 市内公的3病院はいずれも医師の人材確保が大変厳しい状況であり、今後、大学医局からの派遣も益々厳しくなるため、遅かれ早かれ集約する必要が出てくる。診療機能が崩壊してからでは遅い。